

2018年を振り返って…

一鍼灸院が開院して今年で5年が過ぎました。

今年も、公私ともに様々なできごとがあり、たくさん勉強をさせて頂きました。みなさんに感謝です。

今年度の振り返りとして、私個人、鍼灸業界それぞれ3つのトピックスをまとめてみました。

■ ■ ■ トレーニングルーム完成！ ■ ■ ■



昨年からDIYで取り組んできたトレーニングルームが完成しました。患者さんへの指導や自主トレなどでもご使用頂いていますが、自分自身の健康管理の為に特に役立っています。

家庭でも継続して行えるトレーニングをメインに指導しています。使用希望の方があれば、気軽にご相談ください。

■ ■ ■ 各地の災害現場で鍼灸師が活躍 ■ ■ ■



今年はほんとうに災害の多い年でした。そして地震、大雨、台風などで被災し、避難生活を送る方たちに、幅広い症状に対して、針とお灸で対応できる鍼灸師が、力を発揮できた年でもありました。私たちは今、災害鍼灸師としての

研鑽を重ね、有事の際には、鍼灸師として、そして災害現場のリーダーとして活動できるよう準備しています。

■ ■ ■ フルマラソン完走 ■ ■ ■



今年は1月と12月にマラソン大会に参加することができました。当院の患者さんで、走り込んでおられる方たちからするとまだまだのタイムですが、少しはランナーの皆さんの気持ちに寄り添えるようになったのかなと思います。どんなに辛くても、不可能に思えても、前に進んでさえいればいずれはゴールにたどり着く事を体で学びました。来年も頑張ります！

■ ■ ■ 国際疾病分類に鍼灸が追加 ■ ■ ■



国際疾病分類とは、WHOが規定する国際的な病気や症状に対する分類です。今まで我々の鍼灸や漢方などはここに分類がありませんでした。「鍼灸は医学か？」などといった議論がまだ行われている我が国ですが、こうい

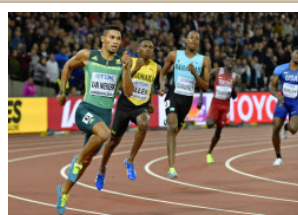
った世界基準の流れを受けて、鍼灸の研究や認知が進み、一般の方が、より受療しやすい環境が整う事を願っています。

■ ■ ■ 全日本鍼灸学会認定更新 ■ ■ ■



私の所属する全日本鍼灸学会には認定制度があり、5年毎の更新です。更新には、学会参加や論文発表、症例報告などによる必要谷の取得が必須なのですが、なんとか更新することができました。取得しても特に益になるものでもありませんが、自身の学術水準を維持する上でも、更新し続けたいと思っています。三重県の認定保有者は6名のみです。

■ ■ ■ オリンピック選手村に鍼灸師が派遣 ■ ■ ■



あと1年半後に迫った東京オリンピック。選手村に設置されるクリニックに、鍼灸師が派遣されることが決まりました。世界中から集まるトップアスリートに対して、日本の鍼灸がどのような貢献ができるかワクワクしま

す。私も、スタッフとして参加できる様、課題をクリアしていきたいです。

来年は私も40歳となります。40の年は「不惑の年」とも言われ、これまで培ってきた学問や経験を迷わず発揮していく年だそうです。まだまだあっち向き、こっち向き、しておりますが、生き方における芯のような物は感じているこの頃。目指す自分、理想の社会に向かって突き進んでいきたいと思ひます。皆様、来年度もどうぞよろしくお願い致します。